

令和元年第4回庄原市議会定例会

一般質問通告者
及び
質問事項

9月19日～9月24日

質問順位

- | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|
| 1. | 横 | 路 | 政 | 之 | 2. | 林 | | 高 | 正 |
| 3. | 桂 | 藤 | 和 | 夫 | 4. | 坂 | 本 | 義 | 明 |
| 5. | 吉 | 方 | 明 | 美 | 6. | 山 | 田 | 聖 | 三 |
| 7. | 田 | 部 | 道 | 男 | 8. | 谷 | 口 | 隆 | 明 |
| 9. | 五 | 島 | | 誠 | 10. | 近 | 藤 | 久 | 子 |
| 11. | 岩 | 山 | 泰 | 憲 | | | | | |

庄原市議会

令和元年9月定例会 一般質問

| 順位 | 質問議員 | 質問項目 | ページ |
|----|------|---|-----|
| 1 | 横路政之 | 庄原市における障がい者の自立支援・相談支援体制について | 1 |
| | | 保育所における子育て支援の充実について | 3 |
| | | 地域公共交通について | 4 |
| 2 | 林 高正 | 国営備北丘陵公園北入口エリア社会実験事業の今後について | 5 |
| | | 庄原版DMOについて | 5 |
| 3 | 桂藤和夫 | 災害発生時における市民意識の向上について | 6 |
| | | 住民告知システムについて | 7 |
| | | 高齢者の運転免許証返納者等への対応策について | 8 |
| 4 | 坂本義明 | 社会実験事業国営備北丘陵公園里山の駅「ふらり」の現状について | 9 |
| 5 | 吉方明美 | JR備後庄原駅舎の有効活用について | 10 |
| | | 小学校のプールを安心して利用できるための対策について | 11 |
| 6 | 山田聖三 | 1町（1ヘクタール）で暮していける農業について | 12 |
| | | 本市における不登校への取り組みについて | 13 |
| 7 | 田部道男 | 幼児教育・保育無償化について | 14 |
| | | 3歳未満児の保育所入所について | 14 |
| | | 幼児教育（就学前教育）の推進体制について | 14 |
| | | 新たな過疎計画（新対策）について | 15 |
| 8 | 谷口隆明 | 「自治体戦略2040構想」などの問題点について | 16 |
| | | 水道事業の広域化の後に、民営化が待っているのではないか | 16 |
| | | 子ども・子育て支援新体制への対応について | 17 |
| 9 | 五島 誠 | スマートシティについて | 18 |
| | | eスポーツについて | 18 |
| 10 | 近藤久子 | 「ひきこもり」支援について | 19 |
| 11 | 岩山泰憲 | 庄原市に転入を希望していた若者世帯が、将来学校がなくなるような地域への移住を取りやめたことについて | 21 |
| | | 市町村合併から十数年経過したが、市内各地域が均衡ある発展をしているのか | 21 |
| | | 公の施設への指定管理者制度導入について | 22 |

一般質問日程

9月19日（木）横路政之・林 高正・桂藤和夫・坂本義明

9月20日（金）吉方明美・山田聖三・田部道男・谷口隆明

9月24日（月）五島 誠・近藤久子・岩山泰憲

| 順位 | 1 | 質問者 | 横路政之 | |
|---------------------------------------|--|-----|------|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | | 答弁を 求める者 |
| <p>1. 庄原市における障がい者の自立支援・相談支援体制について</p> | <p>障がい者の親の高齢化に伴い、親亡き後をどのように対応していくのかを心配する声が多く聞かれる。また、国の示す指針でも施設に入所している人達が地域で生活できるような体制を整えていく必要性を示しており、地域包括ケアの一環として、障がい者も地域で暮らせる体制づくりが進められているところだと思う。</p> <p>地域には、障がい者を支える様々な取り組みが存在し、これまでも地域の障害福祉計画に基づき整備が進められてきているところだが、それらの間の有機的な結びつきが必ずしも十分でないことから、今後、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域が抱える課題に向き合い、地域で障がい者やその家族が安心して生活するため、緊急時にすぐ相談でき、必要に応じて緊急的な対応が図られる体制として、地域生活拠点の積極的な整備を推進していくことが必要とされている。</p> <p>地域生活拠点については、国の基本指針において、平成29年度末までに各市町等に少なくとも1つを整備することを基本としているが、広島県では平成29年度末までに整備が終わっているのは広島市だけである。このように、現在、地域生活拠点の整備が必ずしも進んでいない状況に鑑み、第5期障害福祉計画において現行の成果目標を維持することとし、</p> | | | 市長 |

| 順位 | 1 | 質問者 | 横路政之 | |
|--------------------------------|---|-----|-------------|--|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 | |
| 1. 庄原市における障がい者の自立支援・相談支援体制について | <p>令和2年度末までに各市町または、各圏域に少なくともひとつ整備することが基本とされた。そこで伺う。</p> <p>(1) 現在、本市の地域生活拠点の整備について、どのような取り組みが行われているのか。</p> <p>(2) この事業を進めていくためには、整備内容を検討するための支援協議会の設置が有効と思われるが、本市の現状を伺う。</p> <p>(3) この整備手法については、多機能拠点整備型と面的整備型の2つが示されているが、本市では、どのような形を考えているのか。</p> <p>(4) 障がいを持っておられる方の様々な悩みへの相談は、主に市内に5か所ある相談支援事業所に対応されている。相談支援事業所間では月1回、相談支援部会または相談支援事業所連絡会を開催され、支援スキルアップと情報共有、課題の確認を行っているが、想定外の場合など、対応しきれないケースもある。全ての課題に柔軟に対応できるためには、基幹相談支援事業所の設置が必要であると考えますが市長の考えを伺う。</p> | | 市長 | |

| 順位 | 1 | 質問者 | 横路政之 | |
|------------------------|---|-----|-------------|--|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 | |
| 2. 保育所における子育て支援の充実について | <p>庄原市においては、小児科診療所、病児病後児保育施設、子育て支援施設からなる「庄原市こども未来広場」や、西城保育所の整備を進めるなど、子育て支援の充実に向けた施設整備、保護者の満足感・安心感の向上に取り組んでいる。さらに、本年10月からは、国による幼児教育・保育の無償化がスタートし、保育所、幼稚園を利用する3歳以上の児童に要する保護者の経済的負担は、著しく軽減されることとなる。一方で、若者の人口減少や少子化の進行が懸念される中、将来にわたる保育所での子育て支援の充実について、一層の検討が必要と考えるところである。そのため、次の事項について、市長の所見を伺う</p> <p>(1) 整備が進められている西城保育所には病後児支援室を設け、西城保育所に入所した児童に対応することとなっている。家族形態や保護者のニーズが多様化する中、他の地域においても必要な取り組みであると考え、今後の対応についての方針・方向を伺う。</p> <p>(2) 現在、本市の市立保育所で使用された紙おむつの処理は、これまでの経緯や保護者アンケートの調査結果などを踏まえ、持ち帰りを基本としている。過去、他の議員からの一般質問に対し、「当面、変更の必要はないものと考えているが、衛生面に配慮した</p> | | 市長 | |

| 順位 | 1 | 質問者 | 横路政之 | |
|------------------------|---|-----|-------------|--|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 | |
| 2. 保育所における子育て支援の充実について | <p>取り扱いの徹底、抵抗感の軽減に取り組む」と答弁されている。</p> <p>持ち帰りには、こどもの発育に関する情報を得るなど、一定のメリットがあると思うが、広島市の市立保育所では、本年4月から、持ち帰りを施設処理に変更されたと伺っている。保育所における子育て支援の充実の視点から、保護者に説明し、理解を求めたうえで、施設処理を検討すべきと考えるが市長の所見を伺う。</p> | | 市長 | |
| 3. 地域公共交通について | <p>(1) 本年7月に行った議会報告会の中で、本市の地域公共交通に関して、地元ニーズに合っていないなどの意見が多く出された。地域公共交通は高齢者にとっては重要な移動手段である。</p> <p>本市として、合併以来、様々な取り組みをしているが、現在の公共交通の現状をどのように考えているのか所見を伺う。また、地域公共交通維持に係る行政経費について、長年削減を模索しているが見解を伺う。</p> <p>(2) 新たな地域公共交通体系について、民間を含めて協議推進することは、非常に重要と考える。最近では、国の補助を受けて新しい交通体系を試行する動きもある。本市としての見解を伺う。</p> | | 市長 | |

| 順位 | 2 | 質問者 | 林 高正 |
|--------------------------------|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 1. 国営備北丘陵公園北入口エリア社会実験事業の今後について | <p>昨年3月24日から始めた国営備北丘陵公園北入口エリアの無料化社会実験であるが、昨年12月14日付で、エントランスセンター内でレストラン、カフェ、売店を運営する事業者より撤退の申し入れがあり、本年2月末で完全撤退された。その後、グリーンウィンズさとやまが中心となり4月中旬よりレストラン等は再開されたが、無料化社会実験は2020年1月31日までの予定となっている。</p> <p>本年6月に開いたパンマルシェの際、備北丘陵公園北エリア運営協議会が実施したアンケートによると、298人に聞き取り、うち95%が無料化を継続して欲しいと回答しているが、本市の考えを伺う。</p> | | 市長 |
| 2. 庄原版 DMO について | <p>「庄原版 DMO」の来年4月の設立を目指すための検討会が7月30日に発足した。そして、観光事業者や市民団体の代表が協議し、地域に合った組織体制や事業計画について、年末までに意見をまとめることになっているとの報道があった。</p> <p>地域再生計画『「庄原版 DMO」による「稼ぐ力」向上事業』を読み、事業が先導的であると認められる理由の「官民協働」、「地域間連携」、「政策間連携」について、イメージは理解できるが、「官民協働」などのまとめ役となる、この組織のトップはどのような方が務められるよう想定されているのか伺う。</p> | | 市長 |

| 順位 | 3 | 質問者 | 桂藤和夫 | |
|-------------------------|--|-----|------|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | | 答弁を 求める者 |
| 1. 災害発生時における市民意識の向上について | <p>近年、これまで経験したことのない異常気象により、全国各地で自然災害が相次いでいる。</p> <p>こうした中、国は住民に危険度をわかりやすく伝えるため、新たに「警戒レベル」を設定し、また、報道各社においても、気象情報、被害情報を繰り返し提供するなど、災害対応の強化に取り組んでいる。</p> <p>本市においても、全地域に住民告知端末を整備するとともに、スマートフォンなどを利用したエリアメールにより、必要な情報をすみやかに伝達する体制が構築されている。</p> <p>また、避難情報の発令基準の見直しのほか、避難所の設置・運営についても、自治振興区などとの相互協力による実施が検討されているが、最終的な避難行動は、住民や地域の適切な判断と意識に委ねられるものとする。</p> <p>以上を踏まえ、次の事項について伺う。</p> <p>(1) 昨年7月の豪雨では、市及び地域が開設した約70箇所の避難所に2,400人を超える市民が避難されている。甚大な被害も発生しており、避難状況はこれまでにない最大規模であったと思うが、避難情報の発令基準の見直しと、その基準を踏まえた本年度の避難所開設の状況(回数、箇所数、避難者数など)について伺う。</p> | | | 市長 |

| 順位 | 3 | 質問者 | 桂藤和夫 |
|-------------------------|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 1. 災害発生時における市民意識の向上について | <p>(2) 本市は広域なため、山沿い・谷沿いに住宅が点在し、土砂災害や浸水被害の危険度が高い集落もあれば、庄原市街地のように、土砂崩れや浸水の危険度が少なく、比較的 안전한地域も所在する。こうした状況の中、避難勧告などは、全域又は地域別に発令されると思うが、住民の混乱を避けるとともに、市民が適切に判断し、避難すべき場所に居住する方は必ず避難するという意識の向上への取り組みが必要と考えるが、市長の所見を伺う。</p> | | 市長 |
| 2. 住民告知システムについて | <p>本市は、平成26年度より超高速情報通信網整備事業に着手し、昨年度末をもって計画通り整備事業が完成した。</p> <p>当事業により、市内全域で超高速なインターネットの利用が可能になると共に、この光ファイバー網を活用して、市内一斉に緊急情報や行政情報を伝達する住民告知システムも整備されたところである。</p> <p>こうした状況を踏まえ、次の点について所見を伺う。</p> <p>(1) 住民告知端末の加入状況と未加入者に対する取り組みについて伺う。</p> | | 市長 |

| 順位 | 3 | 質問者 | 桂藤和夫 |
|---------------------------|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 2. 住民告知システムについて | <p>(2) 住民告知端末の早期設置を目的に初期設定経費を市が負担する期限が9月末までと迫ってきている。行政情報のみならず、市民の生活を守る緊急情報を瞬時に伝達するため、少しでも多くの市民に加入してもらうよう、市の負担期限を再度延長してはどうかと考えるが、今後の対応についての所見を伺う。</p> | | 市長 |
| | <p>(3) 住民告知システムの更なる利活用について、今後の考え方を伺う。</p> | | |
| 3. 高齢者の運転免許証返納者等への対応策について | <p>近年、庄原警察署管内の運転免許証の返納者が平成29年度165人、平成30年度156人、まだ年度途中の数であるが、平成31年・令和元年度は、121人となっている。</p> <p>また、最近の交通事故は、被害者も加害者も高齢者という事例が多くなっている。</p> <p>こういう実情を踏まえ、運転免許証返納者への交通手段の確保、また高齢者の交通安全の推進について、市の対応策を伺う。</p> | | 市長 |

| 順位 | 4 | 質問者 | 坂本義明 |
|---|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 1. 社会実験事業 国営備北丘陵 公園里山の駅 「ふらり」の現 状について | (1) 備北丘陵公園北エリア運営協議会の役割について伺う。 | | 市長 |
| | (2) 「ふらり」に來られた観光客の市内循環も含めた観光事業の現状について伺う。 | | |
| | (3) 国営備北丘陵公園への観光入込客数の現状はどのようになっているか伺う。 | | |
| | (4) 「ふらり」の今後の役割と計画について伺う。 | | |

| 順位 | 5 | 質問者 | 吉方明美 | |
|-----------------------|--|-----|-------------|--|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 | |
| 1. JR 備後庄原駅舎の有効活用について | <p>JR 備後庄原駅の駅舎の改修が完成した後の活用について伺う。</p> <p>(1) JR 芸備線は、そのほとんどが高校生の利用により成り立っている。高校生が利用するにあたり、登下校時の便数が少なく、不便だという声を聞く。クラブ活動や行事に合わせたダイヤの組み方を JR に要請できないのか伺う。</p> <p>(2) 駅での長い待ち合わせ時間を有効に過ごすことができるように、駅舎の内部の活用方法を再考する必要があると考えるがいかがか。</p> <p>(3) 以前の一般質問でも伺ったが、計画では駅周辺の賑わいが見当たらない。JR 備後西城駅では、町の玄関口として「エキナカ」をオープンさせ、軽食などの提供や、市民、通学生などが集えるスペースを確保するなどの努力をしておられる。このような取り組みを庄原駅舎においても取り入れる考えはないのか。</p> | | 市長 | |

| 順位 | 5 | 質問者 | 吉方明美 | |
|-------------------------------|--|-----|------|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | | 答弁を 求める者 |
| 2. 小学校のプールを安心して利用できるための対策について | <p>近年、「想定外」の気象状況が続いている。昨年の豪雨災害に引き続き、今年の夏も猛暑に襲われた。</p> <p>この猛暑により、市内の小学校ではプール利用を「中止」せざるを得ない状況があった。今後このような状況は「想定内」のこととして発生すると考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) プール利用の「中止」発令を防ぐための対策は考えているのか。</p> <p>(2) プールに「遮光ネット」を張り、気温と水温の上昇を防ぐことを考えたらどうか。</p> <p>(3) プール使用後の更衣室は、高温多湿であり、熱中症を引き起こす要因ともなる。扇風機の設置が必要ではないか。</p> | | | 教育長 |

| 順位 | 6 | 質問者 | 山田聖三 | |
|----------------------------|--|-----|-------------|--|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 | |
| 1. 1町(1ヘクタール)で暮らしている農業について | <p>1町(1ヘクタール)で一家6人が暮らしていけたら、本市には約6,000ヘクタールの田畑の耕地があり、単純に計算すると36,000人が暮らすことができる。</p> <p>1町(1ヘクタール)で暮らしている農業をめざすことにより、現在の人口を維持することができるのではないかと考える。本市における農業振興の方向性及び施策について、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) まず、農業専業として1町(1ヘクタール)で暮らそうとするならば、野菜、花き、果樹等園芸作物の振興が有効ではないかと考える。本市の園芸作物振興の現状及び課題について伺う。</p> <p>(2) もう一つが、暮らしを楽しみながら、農林畜複合の家族農業を基本として、農産物加工や農家民泊等を併せた複合型農業の推進ではないかと考える。家族を中心とした小規模農業の推進について、市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 農業振興には関係機関との連携を密にし、より具体的な農業経営モデルや数値目標を示すことが重要と考える。本市における農業振興の方向性及び今後の取り組みについて伺う。</p> | | 市長 | |

| 順位 | 6 | 質問者 | 山田聖三 | |
|------------------------|--|-----|------|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | | 答弁を 求める者 |
| 2. 本市における不登校への取り組みについて | <p>国においては、学校復帰を前提とした従来の不登校対策を転換し、不登校の子どもに学校以外での多様な学びの場を提供することを目的とした「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が平成 28 年 12 月に成立し、具体的施策を進めている。</p> <p>本市における不登校への取り組みについて、教育長の考えを伺う。</p> <p>(1) まず、本市における不登校の現状及び課題について伺う。</p> <p>(2) 生涯学習課では、家庭教育支援チームによる家庭教育の支援を推進しているが、不登校への新たな在宅での教育支援策として位置づけられないか伺う。</p> <p>(3) 今の学校のしくみになじまず、学校へ行くことができない子ども達へ多様な学びの場を提供できる公立施設の設置、在宅教育の充実やフリースクールといった新たな学びの場への支援が必要ではないかと考える。不登校へ対する今後の取り組みについて伺う。</p> | | | 教育長 |

| 順位 | 7 | 質問者 | 田部道男 |
|-------------------------|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 1. 幼児教育・保育無償化について | <p>消費税率の10%への引き上げに伴って、国が実施する幼児教育・保育無償化の本市の対応について伺う。</p> <p>(1) 本市では、子育て支援を行うため、先駆的な保育料軽減に取り組んでいる。国の無償化政策に対し、副食費を独自施策で無料とする等により、市費負担額はどれだけ増額する見込みか。</p> <p>(2) 3歳以上児と2歳以下児では、保育料、副食費の無料化の適用が異なっており、特に3歳以上児とする時期については、幼稚園児と1号認定こども園児は年度中途の到達時点とし、保育園児は翌年度からとなっている。この違いについて、十分な保護者への説明が必要と考えるがいかがか。</p> | | 市長 |
| 2. 3歳未満児の保育所入所について | <p>高野保育所において、3歳未満児が職員不足によって入所できない実態がある、と聞いている。全力で職員確保を行い、受け入れる必要があると考えるが、市長の見解を伺う。</p> | | 市長 |
| 3. 幼児教育(就学前教育)の推進体制について | <p>(1) 本市の「令和元年度庄原市教育要覧」において、幼児教育の取り組みの記述が少ないと感じる。</p> <p>教育委員会が「幼・保・小・中連携」の柱となって推進体制を整え、本市の幼児教育を先駆的に推進していただきたいと考えるが、教育長の所見を伺う。</p> | | 市長 教育長 |

| 順位 | 7 | 質問者 | 田部道男 |
|-------------------------------------|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 3. 幼児教育（就 学前教育）の推 進体制につい て | <p>(2) 本市には、幼稚園1（私立）、保育所17（市立16うち公営9・指定管理7、私立1）、幼保連携型認定こども園1、地域型保育事業所3カ所がある。教育・保育内容の基準としては、幼稚園は幼稚園教育要領、保育所は保育所保育指針、認定こども園は保育所保育指針・幼稚園教育要領の両方となっている。幼児教育を先駆的に推進するに当たっては、市立保育所の「幼保一体型認定こども園」への転換を行い、幼児教育推進を明示することが体制整備の起点となると考えるが、市長の所見を伺う。</p> | | 市長 教育長 |
| 4. 新たな過疎計 画（新対策）に ついて | <p>(1) ポスト過疎法に向け、新たな過疎地域のまちづくり計画の策定が必要になると思うが、広域で全域が過疎地域の本市では、どのように地域の願いを反映し、展望ある振興策を樹立する考えか、市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 新たな計画においては、七塚原高原、県立広島大学、県立畜産技術センター、全農和牛TMRセンター、和牛博物館などの施設等を活用し、広島県・三次市・神石高原町・全農・農業公社等の組織と連携した牧畜農業の再生や、アグリビジネス・AI活用農業の実証などによる山村集落の存続対策を柱にすべきと考えるが、市長の所見を伺う。</p> | | 市長 |

| 順位 | 8 | 質問者 | 谷口隆明 |
|--------------------------------|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 1. 「自治体戦略2040構想」などの問題点について | <p>スマート自治体、AIの活用で「従来の半分の職員」でも運営できる自治体を目指し、自治体行政の標準化・共通化するなどの方向などが示されている。こうした構想には全国市長会なども異議を唱えている。コミュニケーションを基本とする公務労働は、AIでは代替できないのではないか。憲法と地方自治法に基づく、「全体の奉仕者」としての公務員の役割が発揮され、働きやすい職場にしていくべきだと考えるが、市長の見解を伺う。</p> | | 市長 |
| 2. 水道事業の広域化の後に、民営化が待っているのではないか | <p>これまでの質問に、水道事業の広域化は、「水道事業が直面する課題に対し、基盤の強化を図ることを目的としたもの」と答えられているが、広島県はコンセッション方式導入（民営化）を前提に事業を進めているのではないか。</p> <p>世界的には、民営化の行き詰まりで再公営化されている。民営化を前提にした広域化であるのなら、本市の水道事業の広域事業への参加は見送るべきではないか、市長の見解を伺う。</p> | | 市長 |

| 順位 | 8 | 質問者 | 谷口隆明 |
|-------------------------|---|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 3. 子ども・子育て支援新制度への対応について | <p>幼児教育・保育の無償化に対して、市の独自判断で3歳児以上の副食費の完全無料化などの施策は大いに評価している。新制度の運用に当たって以下の質問を行う。</p> <p>(1) 5年間の経過措置期間は、国が定めた「認可外保育施設の指導監督基準」を満たさない施設も無償化の対象になる。こどもの安全性の確保の観点から、自治体の判断で条例を定め、対象範囲を決めることができるが、本市では条例化を考えないのか。</p> <p>(2) 来年度からの無償化の財源は、私立と公立で異なる。公立施設については普通交付税で手当があるとしても、地方交付税が抑制傾向にある中で、その運営や無償化に国庫補助金がないことは、大きな問題であり、民営化が加速される懸念もある。市の財政運営への効果や影響について伺う。</p> <p>(3) 国の幼児教育・保育の無償化によって浮いた財源の一部を、高校3年生までの医療費助成など他の子育て支援の充実に回せないか、市長の見解を伺う。</p> | | 市長 |

| 順位 | 9 | 質問者 | 五島 誠 |
|----------------|--|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 1. スマートシティについて | <p>近年、IoT、ロボット、人工知能、ビッグデータといった社会のあり方に影響を及ぼす新たな技術の開発が進み、日本国内でもこれらの先進技術を社会的課題の解決のために活用する取り組みが進んでいる。</p> <p>特に本市のような人口減少の著しい地域では、テクノロジーの進歩をまちづくりに積極的に活用していく事が必要であり、より活用への期待が高いと考えるが、スマートシティ「都市の抱える諸課題に対してICT等の新技術を活用しつつ、マネジメントが行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区（国土交通省都市局平成30年8月、スマートシティの実現に向けてより）」化へ向けて、市役所全庁あげて取り組むべきと考えるが所見を伺う。</p> | | 市長 |
| 2. eスポーツについて | <p>本市におけるeスポーツとの関わりやまちづくりへの視点、社会課題解決の一助とする方策など、教育長の所見を伺う。</p> | | 教育長 |

| 順位 | 10 | 質問者 | 近藤久子 | |
|---------------------|---|-----|-------------|--|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 | |
| 1.「ひきこもり」 支援について | <p>2018年12月、40歳から64歳を対象とする初めての内閣府の調査で、「ひきこもり」は、推計で61万3千人に上った。庄原市においても社会福祉協議会の独自調査では90人となっている。</p> <p>8月26日、総社市において「全国ひきこもり支援自治体サミット」が開催され、相談先すらなかった時期を経て、ひきこもりは社会全体で取り組むべき課題として認識されてきた。最も難しい閉塞した福祉課題の1つに対し、様々な観点からの支援策が重要と考える。</p> <p>現在、本市では、社会福祉協議会が独自事業として、赤い羽根募金を財源とする事業を実施されているが、現状の課題と、今後の取り組みについて以下の点を伺う。</p> <p>(1) 庄原市における、8050問題とあわせた、ひきこもり世代の高齢化と長期化による課題について伺う。</p> <p>(2) ひきこもりの実態調査を実施することにより、本市の支援策、対応策が改めて考えられるのではないか。</p> <p>(3) 社会福祉課、保健医療課、商工林業課、教育委員会による多様な情報交換の場としての組織づくりについて伺う。</p> | | 市長 | |

| 順位 | 10 | 質問者 | 近藤久子 |
|---------------------|---|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 1.「ひきこもり」 支援について | (4) ひきこもりに対する理解を得て、「じぶんたちにできること」などの支援に繋げる市民向けの研修会の開催計画を早急に考えるべきではないか。 | | 市長 |
| | (5) ひきこもり支援を行政の施策として予算化することについて伺う。 | | |
| | (6) 既に比和地域で実施されている「家族の会」、「支援の会」、「当事者のフリースペース」、「支援者の連絡会」など、未実施地域への普及について伺う。 | | |
| | (7) 厚生労働省は、本年7月19日に「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」の中間とりまとめをした。「断らない相談」を実現することにより、地域におけるひきこもり支援を強化することが記載されている。国の動向を確実に掴み、支援に向けた体制づくりについて、今後の取り組みを伺う。 | | |

| 順位 | 11 | 質問者 | 岩山泰憲 | 項目 | 質問の小項目及び要旨 | 答弁を 求める者 |
|--|--|-----------|------|----|------------|-------------|
| 1. 庄原市に転入を希望していた若者世帯が、将来学校がなくなるような地域への移住を取りやめたことについて | (1) 現在、本市において、小中学校の統廃合計画を進めている。本来、文部科学省の手引においては、統廃合計画を進めるに当たっては、地域の実情や地域の声を尊重して丁寧な説明をして住民の皆さんの理解を得て方針を決めるよう国は指導しているが、本市では、住民合意のないまま進めようとしている。 先般、市外から庄原市に移住を検討していた若者世帯が、将来、学校がなくなるので移住計画を取りやめた、という話を聞いた。このような状況があっても、学校を廃止していくのか伺う。 | 市長 教育長 | | | | |
| | (2) 近隣の市町では、人口増の取り組みを行い、実際、増えている例がある。本市では地域振興を掲げているが、自ら人口増の取り組みは行わないのか伺う。 | | | | | |
| 2. 市町村合併から十数年経過したが、市内各地域が均衡ある発展をしているのか | (1) 旧庄原市における水道事業で、水道未整備の地域や給水量が十分でない地域の取り組みについて伺う。 (2) 国が合併した市町村に対して財政的な支援策としている合併特例債の活用状況について伺う。 (3) 今後の各支所のプロジェクトと取り組み状況について伺う。 | 市長 | | | | |

| 順位 | 11 | 質問者 | 岩山泰憲 |
|------------------------------------|---|-----|-------------|
| 項目 | 質問の小項目及び要旨 | | 答弁を 求める者 |
| 3. 公の施設への 指定管理者制 度導入につい て | <p data-bbox="544 421 1190 517">指定管理者制度の導入を進めてきたが、当初の目的どおり実施されているのか伺う。</p> <p data-bbox="544 539 1190 696">(1) 保育所における保育士の待遇は、同一業務にもかかわらず、市の保育士と比較して低く置かれていないか。</p> <hr data-bbox="523 734 1211 739"/> <p data-bbox="544 748 1190 844">(2) 観光関連の施設で収支に無理があるところはないか。</p> | | 市長 |